



平成 18 年 2 月 6 日

各 位

東京都豊島区東池袋四丁目 21 番 6 号  
朝 日 工 業 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 赤 松 清 茂  
( JASDAQ コード番号: 5456 )  
問 合 せ 先 : 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 横 江 謙 司  
電 話 番 号 : 03 - 3987 - 2161 ( 代 表 )

### 電気炉ダスト処理設備の導入について

当社は、鉄鋼製品を製造している埼玉工場に、製鋼工程で発生する電気炉ダストの処理設備（RHF）を電炉メーカーとして初めて導入することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

この設備を導入することにより、従来、外部業者に委託していた電気炉ダストの処理費用が削減されコスト低減が図られる他、産業廃棄物の自社リサイクル率が大きく向上いたします。

#### 記

- 1．導入設備名 回転炉床炉（Rotary Hearth Furnace：RHF）
- 2．処理量 約 10,000 トン / 年
- 3．処理内容 電気炉ダストを還元処理することによる還元鉄の回収
- 4．投資額 約 9 億円（付帯設備を含む）
- 5．設備施工 新日本製鐵株式会社
- 6．設備稼働開始 平成 19 年 3 月予定
- 7．投資効果 約 1 億円 / 年
- 8．説明

製鋼工程で発生する電気炉ダストには、酸化鉄が多く含まれています。

電気炉ダストは、従来、産業廃棄物として亜鉛精錬業者に委託し処理を行なってまいりましたが、今後、産業廃棄物処理の規制強化等の可能性も考えられることから、安定的なダスト処理の継続と、処理コストの低減を目的に自社内で処理を行なうため、新設備の導入を決定いたしました。

導入することにいたしました回転炉床炉（RHF）は、本来、粉鉄鉱石と石炭を使用して還元鉄を製造するプロセスとして開発された金属焙焼炉で、ダストは下記の工程で処理されます。

- |         |   |
|---------|---|
| 前処理工程   | 電気炉ダスト、炭粉、バインダーを配合し、高強度ブリケットを生成。                |
| 還元工程    | で生成されたブリケットを回転炉床炉に供給し、加熱してダスト中の酸化鉄を還元させ、還元鉄を回収。 |
| 二次ダスト収集 | 回転炉床炉からの排ガスを急速冷却し、二次ダスト（亜鉛を高濃度に含む）を捕集。          |

処理により得られた還元鉄は製鋼用電気炉へ鉄源としてリサイクル活用、二次ダストは亜鉛精錬業者に粗酸化亜鉛として販売いたします。

従来から電気炉ダストは外部業者により再資源化されておりますが、このダスト処理設備導入により自社内リサイクルが可能になり、外部に搬出している産業廃棄物量を平成 16 年度比で約 90%削減できる計画です。

以 上